

令和4年度 第3回湖南省文化財保護審議会

日時	令和5年2月21日（火）14：00～16：00
場所	湖南省協同福祉施設 サンライフ甲西
出席者	【委員】7名 【事務局】加藤部長、井上教育部長、野崎課長、堤課長補佐、守武主事
議題	●協議事項：紙本著色少菩提寺絵図の取り扱いについて ●報告事項 ・指定文化財の所有権 ・三雲城跡の現状変更 ・保存修理事業 ・埋蔵文化財調査 ・夢望庵文庫について
傍聴者数	0
担当部署 (事務局)	湖南省環境経済部 商工観光労政課 T E L：0748-71-2331

●協議事項：紙本著色少菩提寺絵図の取り扱いについて

- ・既往の調査から、中世末ごろの遺構の存在は明らか。
- ・現地の意向と絵図が一致するとしても、あくまで偽文書。まちおこしに活用することは良いが、現地と絵図とは別で考えるべき。
- ・偽文書を必要とした歴史背景があったこと、現地の遺跡は市にとっても重要なものであることは考慮したい。

（審議中の内容のため部分公開）

●報告事項

（事務局）

- ・南勝寺の市指定文化財（青銅釈迦誕生仏）について、所有権を市に移す方向で進める予定。
- ・三雲城跡 八丈岩に対する現状変更（注連縄）について、業者と吉永区に連絡をとったが「知らない」とのこと。計画はなくなったものとみられる。
- ・1月24日の大雪の影響で善水寺本堂の屋根の茅葺きが破損した。県に報告し、文化庁に毀損届を提出済。応急処置はしている。
- ・常楽寺の危険木伐採を検討中。1月20日に文化庁長官から現地指導があった。来年度の冬ごろに実施の見込み。
- ・埋蔵文化財調査：井戸遺跡内（夏見地先）で駐車場、資材置き場の造成に伴い届出あり。工事立会対応済。埋蔵文化財は確認されなかった。
- ・指定基準ができたので、新規指定もやっていきたい。

(委員)

- ・社会変動期にあり、文化財の流出リスクは高い。それを防ぐ意味でも指定は積極的にやると良い。
- ・無形文化財は社会変動の影響が強い（コロナ禍で行事が中止になる等）民俗調査など保存するスタンスを見せることが大事。

報告事項：夢望庵文庫について

(事務局)

菩提寺の正念寺が所有する、松尾芭蕉関係をはじめとしたコレクション。先代住職が集めておられたが数が膨大で整理ができていない。個人の所有物なので手出ししづらいところではあったが、市内の文化財コレクションということで把握はしておきたい。

現住職の意向としては、調査整理のため大谷大学に預ける方向で検討している。市としてもひとまず大谷大学にお任せする方針。

～審議会終了～